



一般財団法人 環境事業協会

“海の万博”が開催される大阪湾奥部と人・街を“つなぐ”プロジェクト



地域の概要及び課題

【地域の概要】

- 湾奥部の港湾エリアの中にある貴重な干潟。
- 令和5年度に「スタートアップ」として体制構築や生物調査、環境改善の試行実施。また、貴重な里海づくりの場として、魅力あるこの場所を「なにわCHISHIKI浜」と名付けた。

【課題】

- 大阪湾は人工護岸が多く、生物の生息に適した海岸や海との触れ合いの場が少ない。
- 大阪湾の環境資源が十分に活かされていない。

取り組みの実施体制、連携

【全体統括】一般財団法人 環境事業協会・大阪府（環境保全課）

なにわCHISHIKI浜 保全活動

大阪市立自然史博物館友の会
大阪公立大学工業高等専門学校
せんなん里海公園・株式会社海遊館
貝塚市立自然遊学館

～生物調査
大阪府立環境農林水産総合研究所
～環境調査結果の説明

企業（開催協力）

～護岸へのアクセス、安全管理
大阪府漁業協同組合連合会
堺市漁業協同組合連合会

～海ごみ回収、イベント用海産物協力 等

大阪都市部と大阪湾を繋ぐ

大学生 ～活動主体



海と日本プロジェクトin大阪 ～映像制作・放送

◇We Love 大阪湾

阪急うめだ本店
～イベント会場の提供、情報発信
企業（水中撮影・広告関係）
～大阪湾の水中映像提供

◇大阪里海応援キャンペーン

β本町橋共同事業体
～イベントでの出展場所の提供
企業（シェフ）
～大阪湾産海産物のメニュー開発

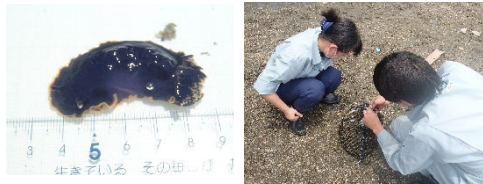
活動地名
大阪府大阪市/堺市



R6年度モデル事業における取組内容および成果

【なにわCHISHIKI浜】 生物生息環境調査

- 有識者・関係機関と連携した生物生息空間の創出・生息環境の調査



【成果】

ヤドカリ・カニなどの甲殻類やアサリなどの貝類の生き物などの生息場としての機能が確認された。また、74種類もの生物種の生息を確認しており、中には準絶滅危惧種となる生物も複数確認された。

【なにわCHISHIKI浜】 里海づくり活動

- 大学生や漁業関係者などの関係機関が連携し、里海づくり（海ごみ拾い、耕耘作業、生物調査、生き物の住み家の設置）を実施



【成果】

学生ボランティアや漁業者等との連携体制を構築。海ごみの撤去や干潟の環境改善で、体験学習の場として活用できる環境を整えた。

【都市部と大阪湾を繋ぐ】 We Love 大阪湾♡生きもののおうちを作ろう！

- 都市部（百貨店）で、「大阪湾」の魅力を体感できるプログラムの開発、実施



【成果】

大阪湾に親しみの薄い都市部の住民に大阪湾の魅力が伝わった。子どもたちが生き物のおうちを作り、実際に「なにわCHISHIKI浜」に設置することで、大阪湾から離れた都市部でも里海づくりに貢献することができた。

【都市部と大阪湾を繋ぐ】 大阪湾のお魚でプランクBBQ体験教室

- 大阪湾で水揚げされた海産物をシェフ監修のもとでメニュー考案し、都市部の水辺施設でプランクBBQ体験を実施



【成果】

体験を通じて大阪湾の魚が美味しいということを知ってもらい、大阪湾の里海づくりについて応援したいという機運の醸成に繋がった。

今後の課題および 取組方針

- アサリなどの多様な生き物に適した生息環境への改善や調査方法の改善が課題。引き続き、さらなる連携体制の充実や里海づくり活動の継続・拡大、より多くの人を対象とした里海体験の機会の創出をめざす。
- 若者世代や沿岸部以外の住民における大阪湾への関心・愛着が低いことから、多様な主体と連携して持続的な都市部と大阪湾を繋ぐ活動などを検討し、大阪湾への関心や保全活動への参画促進をめざす。